



OT vol.7

sangetsu

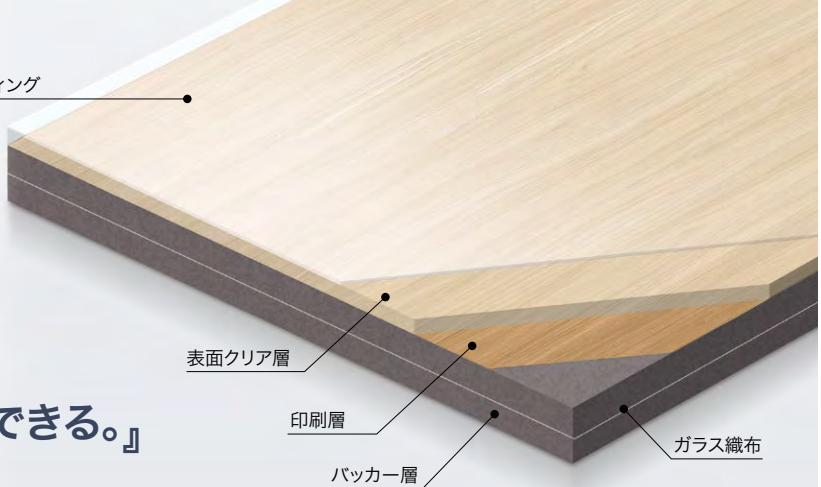
置敷き帯電防止ビニル床タイル

ワックスフリーコーティング | 帯電防止 | グリーン購入法適応商品

WF
WAX FREE

WF WAX FREE ワックスフリー コーティング

『ワックスをかけることなく、美観を維持できる。』

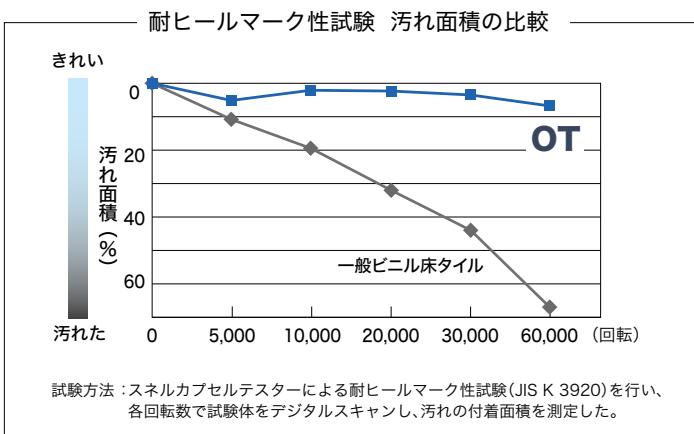
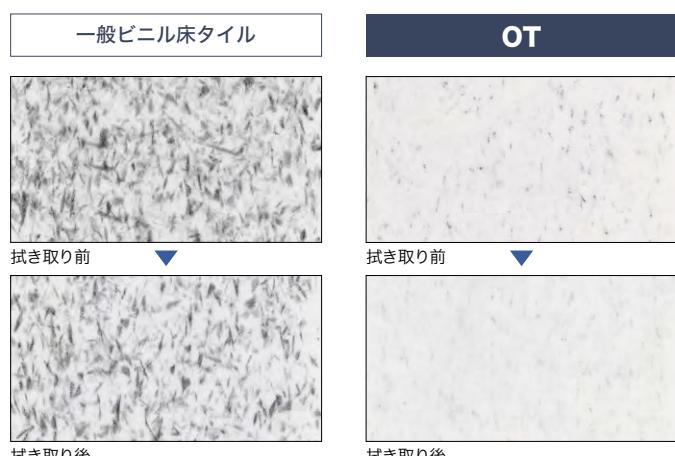


1 高い防汚機能 ➤ ワックスフリー

ワックスフリーコーティングによって汚れがつきにくく、取れやすい。表面の拭き取りのみで汚れが除去できます。

■ ヒールマーク(靴底汚れ)付着・除去試験

試験方法：スネルカブセルテスターを用いたヒールマーク試験(5,000回転)を行い、拭き取り前と拭き取り後の汚れを観察した。



2 環境負荷を低減

大量の汚水が発生するワックス剥離作業が不要。
環境負荷の高い廃液(汚水・剥離剤など)を最小限に抑制します。

3 メンテナンスコストを削減

ワックスフリーコーティングの寿命を通じてワックスかけが不要となり、それに伴う時間と費用も削減できます。

■ ワックスメンテナンスサイクル例



※上記は一例であり、使用環境により内容は異なります。

- ワックスフリーコーティングには、摩耗による寿命があります。
- 日常メンテナンスは必ず行ってください。
- ワックスメンテナンスへの切り替えも可能です。

※メンテナンス方法の詳細に関しては、右の資料をご覧ください。

置敷き帯電防止ビニル床タイル

OT

施工が簡単で、貼り替えも素早くできるので、改修工事や二重床に最適です。

4mm厚

常備
在庫

標準価格(税別)
8,200円／m²

5mm厚

受注
生産

標準価格(税別)
8,900円／m²

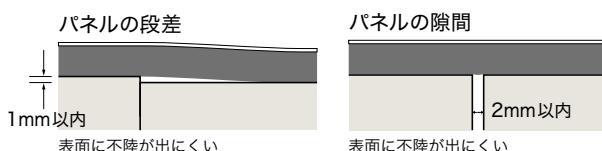
数量：500m²／色以上
納期：受注後4週間

※大口ご注文の際は事前にお問い合わせください。

ピールアップ工法による置敷き施工ができます

既存床や二重床に最適です

既存床や二重床の段差や隙間をカバーし、不陸が現れにくいタイルです。



寸法安定性に優れます

ガラス繊維を使用したパッキングで温度変化による寸法変化が起こりにくいので、置敷き施工が可能です。

加熱による長さの変化率(%)	タテ	ヨコ	JIS A 1454
熱膨張率(°C ⁻¹)	3.89 × 10 ⁻⁵	5.26 × 10 ⁻⁵	

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。

全点 帯電防止・防炎仕様です



静電気による障害の防止を必要とする場所におすすめします。

(23°C 25%RH)

	表面電気抵抗値(Ω)	体積電気抵抗値(Ω)	人体帶電圧(kv)
	JIS A 1454 準拠	JIS A 1454 準拠	JIS L 1021-16 準拠
OT-701～739	6.3 × 10 ⁹	2.4 × 10 ⁹	0.3
一般ビニル床タイル	2.8 × 10 ¹²	7.3 × 10 ¹¹	4.1

※上記の値は測定値であり保証値ではありません。

※施工後は帯電防止ワックスの塗布をおすすめします。



防炎性能が認められています。

防炎性能試験番号:E1150182

NEW

ワックスフリーコーティング(標準仕様)でメンテナンスがお手軽に



ワックスをかけることなく美観を維持できます。
わずらわしい通行止めや設置物の移動などが大幅に削減できます。



ワックスメンテナンス中は通行禁止



日常メンテナンスで美観維持が可能に



OT-701

パイン



標準価格(税別)

8,200円／m² | **19,130円／ケース(ケース売)**
1ケース=14枚入(約2.33m²)

■サイズ 166.7×1000×4.0mm

■接着剤 (モルタル下地) ▶ピールアップ工法:GT
(OAフロア下地) ▶ピールアップ工法:GT・GTS



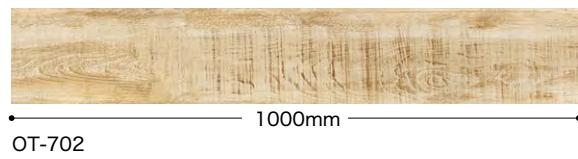
▲OT-701

NEW



▲OT-702

NEW



OT-702

166.7mm

1000mm

ハイランドオーク



標準価格(税別)

8,200円／m² | **19,130円／ケース(ケース売)**
1ケース=14枚入(約2.33m²)

■サイズ 166.7×1000×4.0mm

■接着剤 (モルタル下地) ▶ピールアップ工法:GT
(OAフロア下地) ▶ピールアップ工法:GT・GTS



▲OT-703

NEW



▲OT-704

NEW

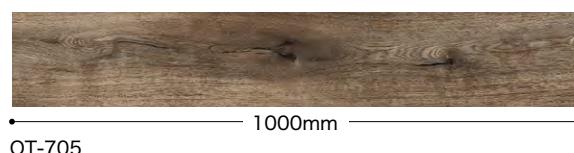


▲OT-705

NEW



OT-704

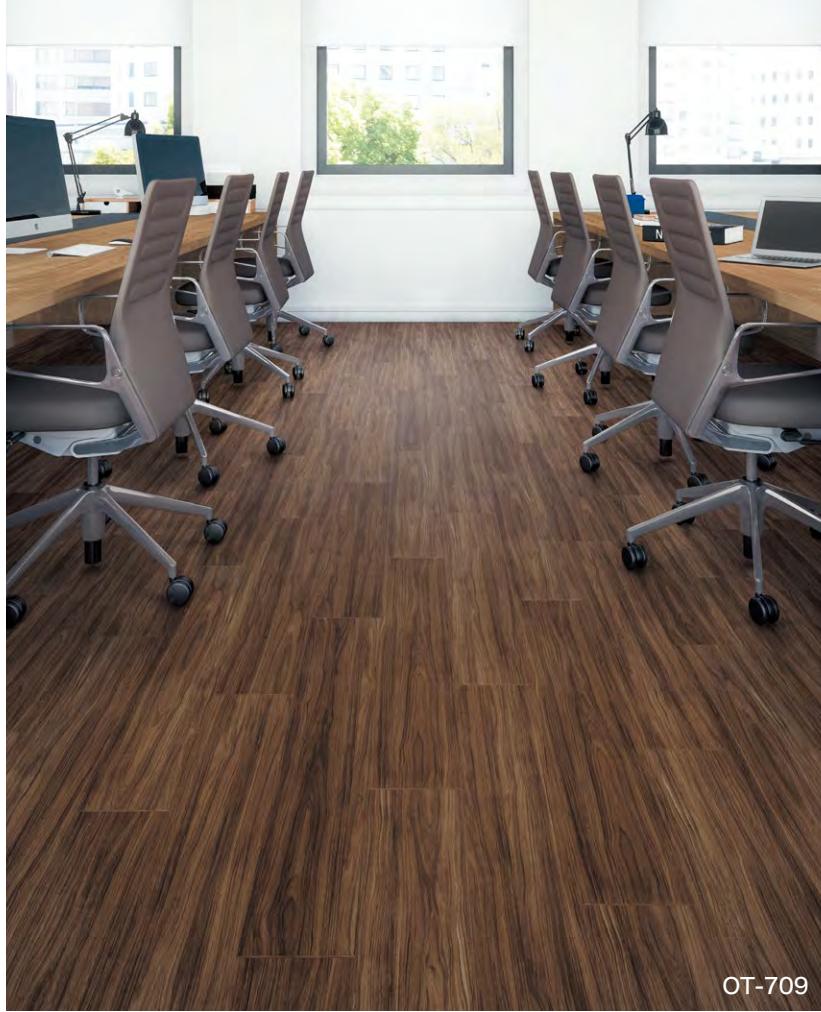


OT-705

■取扱上のご注意は必ず裏面をご確認ください。



OT-706・707・728



OT-709

チョークドオーク



標準価格(税別)

8,200円／m²

19,130円／ケース(ケース壳)

1ケース=14枚入(約2.33m²)

■サイズ 166.7×1000×4.0mm

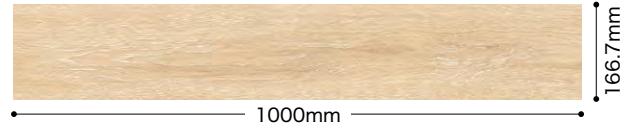
■接着剤 (モルタル下地) ▶ビールアップ工法:GT
(OAフロア下地) ▶ビールアップ工法:GT・GTS



▲OT-706



▲OT-707



OT-706

ウォルナット



標準価格(税別)

8,200円／m²

19,130円／ケース(ケース壳)

1ケース=14枚入(約2.33m²)

■サイズ 166.7×1000×4.0mm

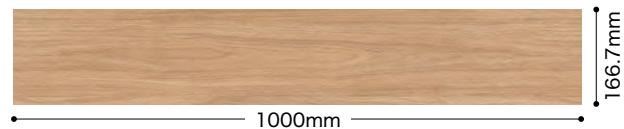
■接着剤 (モルタル下地) ▶ビールアップ工法:GT
(OAフロア下地) ▶ビールアップ工法:GT・GTS



▲OT-708



▲OT-709



OT-708

コンクリート



標準価格(税別)

8,200円／m²

2,050円／枚(枚売可)

1ケース=12枚入(約3.0m²)

■サイズ 500×500×4.0mm ■接着剤(モルタル下地) ▶ピールアップ工法:GT (OAフロア下地) ▶ピールアップ工法:GT・GTS



▲OT-710



▲OT-711



▲OT-712



OT-712

500mm

500mm

NEW

NEW

NEW



OT-711・703

リニア



標準価格(税別)

8,200円／m²

2,050円／枚(枚売可)

1ケース=12枚入(約3.0m²)

■サイズ 500×500×4.0mm ■接着剤(モルタル下地) ▶ピールアップ工法:GT (OAフロア下地) ▶ピールアップ工法:GT・GTS



▲OT-713

NEW



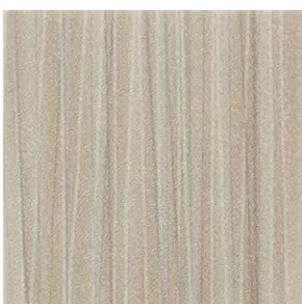
▲OT-715

NEW



▲OT-717

NEW



▲OT-714

NEW



▲OT-716

NEW



OT-714

500mm
500mm



OT-713・714・715

カーペット



標準価格(税別)

8,200円/m²

2,050円/枚(枚売可)

1ケース=12枚入(約3.0m²)

■サイズ 500×500×4.0mm ■接着剤 (モルタル下地) ▶ビールアップ工法:GT (OAフロア下地) ▶ビールアップ工法:GT・GTS



▲OT-718



▲OT-721

NEW



▲OT-724



▲OT-726



▲OT-719



▲OT-722

NEW



▲OT-725



▲OT-727



▲OT-720



▲OT-723

NEW



OT-724

500mm

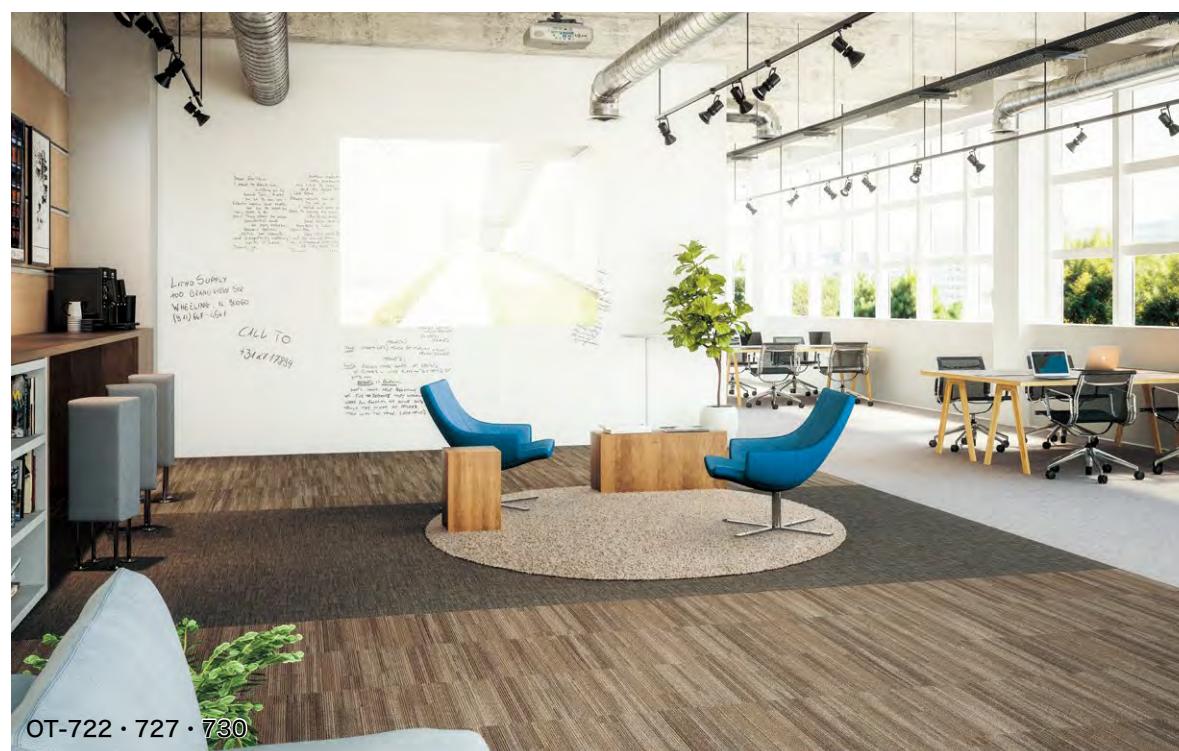
500mm



OT-721

500mm

500mm



ウジェーヌ



標準価格(税別)

8,200円／m²

2,050円／枚(枚壳可)

1ケース=12枚入(約3.0m²)

■サイズ 500×500×4.0mm ■接着剤 (モルタル下地) ▶ピールアップ工法:GT (OAフロア下地) ▶ピールアップ工法:GT・GTS



▲OT-728

NEW



▲OT-732

NEW

エスリューム・ミスト PF-1667と類似柄



▲OT-736

NEW

エスリューム・ミスト PF-1668と類似柄



▲OT-738

NEW

エスリューム・ミスト PF-1676と類似柄



▲OT-729

NEW

エスリューム・ミスト PF-1658と類似柄



▲OT-733

NEW

エスリューム・ミスト PF-1662と類似柄



▲OT-737

NEW

エスリューム・ミスト PF-1663と類似柄



▲OT-739

NEW

エスリューム・ミスト PF-1661と類似柄



▲OT-730

NEW

エスリューム・ミスト PF-1659と類似柄



▲OT-734

NEW

エスリューム・ミスト PF-1664と類似柄



▲OT-731

NEW

エスリューム・ミスト PF-1660と類似柄



▲OT-735

NEW

エスリューム・ミスト PF-1666と類似柄



複層ビニル床シート エスリューム・ミスト

と類似柄です。



規格>2.0mm厚／182cm巾

標準価格
(税別) 3,300円／m² [6,010円／m]



詳しくはS-FLOOR見本帳を
ご参照ください。

■取扱上のご注意は必ず裏面をご確認ください。



OT-708 • 720

取扱上のご注意

選択上のご注意

- フロアタイルの耐久性能は歩行量、使用環境によって異なります。選択の際には製品の耐久性以上の用途でのご使用はお避けください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 下地からの湿気の上昇や、摩擦熱や火花の飛び散りが予想される場所では使用をお避けください。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。またフラットな表面形状はキズが目立ちやすく、エンボスが深い、あるいは細かいほど汚れが残りやすくなりますのでお含みください。
- 家具の下などの暗所、密閉されるような環境、高温多湿、酸性ガス(NO_x 、 SO_x)などの条件が揃うと床材が変色する場合があります。これらの条件が揃わないよう注意し、やむを得ずそのような箇所に施工する際には暗色系の床材を選定してください。

運搬ならびに保管上のご注意

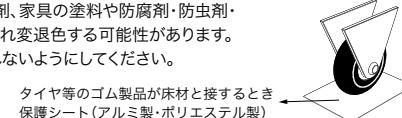
- 重量物ですので取り扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いはフロアタイルの破損だけでなく、傷害や器物破損などを招く場合があります。
- フロアタイルは梱包を解かずして平坦な場所に保管してください。積載は高さ70cmを限度とします。積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態、雨水などによる水濡れは、変形・変色・変質の原因となります。

施工上のご注意

- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- タイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色差のように見えることがあります。
- 各商品別に施工上の注意・接着剤等が異なりますので、商品掲載ページの施工上の注意をご参照ください。また施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 下地は平滑かつ清潔で乾燥して、十分な強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもろい下地や粉っぽい下地はプライマー処理を行ってください。
- 不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 木質系下地の目地部、凹み、釘頭部は適切なコンパウンドで補修してください。床材表面への継ぎ目段差や凹み跡の現出、釘に使用された防錆剤等により床材を変色させる恐れがあります。
- 木質下地に含まれる防虫剤や防腐剤により床材を変色させる場合がありますのでご注意ください。
- 鉛物ベースの下地(モルタル・コンクリートなど)で、新規あるいは土間床の場合は下地水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は床仕上げ材と同様に適切な皮膜もしくはその他の方法で高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- クッション性の大きな下地にフロアタイルを施工すると沈み込みによる段差や端部のめくれ、層間剥離などの不具合が生じる場合があります。
- 下地にワックス、グリス、油脂類、塗料などの汚れ、ペン、ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- フロアタイルや接着剤は施工時の温度に大変影響を受けやすく、低温時は特に接着剤の接着力が弱くなり完全接着までには時間がかかります。理想的な施工温度は15~25°Cですが、それよりも気温が低い場合はジェットヒーターなどの暖房機で現場を暖めるなどして、施工の前後12~24時間はこのような気温を保ち、フロアタイルも箱から出して現場と同様の気温に保管し、ならす必要があります。室温と床材に温度差があると施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどを起こすことがあります。
- 接着の前にフロアタイルを一旦仮置きして、色柄の偏りがないか確認のうえ施工してください。
- 接着の際は、床材の指定接着剤を使用し、接着剤指定のくし目ごとで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、下地水分グレードがI(一般工法レベル)の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は火気に注意し、室内の換気を中心に、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 床暖房下地の場合は、下地づくりから含めた施工上の注意と接着剤の選定が必要となります。
- コンパネ、二重床、塗床、タイルの重ね貼りなどの非吸水性下地の場合は、反応形接着剤(ベンシリダンWP等)を使用し、接着剤の乾燥を促進させる必要があります。
- タイル同士に若干の寸法差が生じる場合があります。目地ずれが大きくならないうちに調整しながら施工してください。
- 施工中は他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは通行を制限し、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化や、重量物やキャスター椅子などによるしきなどは避けてください。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとってください。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、フロアタイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、フロアタイルの反り・突き上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、通気性のあるものを使用し、接着剤が十分硬化してから使用してください。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙や突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。これらは美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニール床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。

維持管理ならびに使用上のご注意

- フロアタイルは熱によって変色・溶融する可能性があります。たばこや車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けてください。
- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接フロアタイル表面に当たることを避けてください。ホットカーベットなど暖房器具の熱が長時間にわたり加わると、変質や変色、突き上げ・膨れの原因となります。
- 重量物や車輪のしきぎによって、フロアタイルの表面を傷つけたり膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにご注意ください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。結露を招き、カビや異臭の発生、フロアタイルの剥がれ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気に心がけてください。
- 接着剤が完全に硬化してから水の使用をできるだけ抑えながら表面の汚れを洗浄し、乾燥した後に樹脂ワックスを塗布してください。洗浄が不足するとワックスとの密着性が悪くなる場合があります。
- 床材の汚れの多くは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取り除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- トイレでご使用の際には汚れを放置すると尿素焼け等を起こす場合がありますので、こまめに掃除を行ってください。
- しつこい汚れは、スカットクリーナーで除去し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- 竣工後は使用環境や汚れの状況に応じた日常の清掃・洗浄と定期的なワックス掛けを行ってください。ワックスは必ず指定のワックスまたは同等品をご使用ください。ヒールマーク対応のワックスも取扱っています。
- ドライメンテナンスを行なう際はメンテナンス業者へご確認願います。
- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置などで雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようしてください。フロアタイルの摩耗、傷つきを防ぎ美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。
- 長時間直射日光があたる場所では変色する可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- 家具やハイヒール等の局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭き取ってください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変色や変質を招く場合があります。
- 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変色や、施工後の反り・膨れ・剥がれ・目地隙などがおこる場合があります。維持管理には十分ご注意ください。
- タイルの剥がれ、反り、膨れ、割れなどが生じた場合、即座に補修してください。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか転倒事故の原因となります。
- ゴム製品に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変色する可能性があります。使用を避けるか、床に直接ふれないようにしてください。



旧→新対照表

旧品番	新品番	旧品番	新品番	旧品番	新品番
OT-301	類 OT-713	OT-307	類 OT-727	OT-316	類 OT-720
OT-302	類 OT-714	OT-308	類 OT-724	OT-333	類 OT-706
OT-303	類 OT-715	OT-309	類 OT-725	OT-334	類 OT-707
OT-304	類 OT-716	OT-312	類 OT-722	OT-335	類 OT-708
OT-305	類 OT-717	OT-314	類 OT-718	OT-336	類 OT-709
OT-306	類 OT-726	OT-315	類 OT-719		

類:類似品です。(注)旧品番で対照表に番号がないものは、廃番となります。

グリーン購入法※適応商品について

2006年2月、ビニール系床材がグリーン購入法の「特定調達品目」に認定されました。再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されたものがグリーン購入法適応商品となります。

※グリーン購入法とは

2001年4月より施行された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」です。国や独立行政法人等の各機関が物品等を調達する際には、価格や品質に加え、環境負荷の低減を考慮した物品購入を推進することが義務づけられました。また、地方公共団体・事業者・国民等についても環境物品等の調達を推進することが推奨されています。

下地水分の測定と判断基準について

ビニール系床材は下地との接着力が耐久性や他の諸性能に大きな影響を与えます。そのため施工前の下地水分の確認とそれに応じた接着剤の選定が重要です。その判断基準として高周波静電容量式水分計「HI-520-2型」に備えられているDモード(ダイレクトモード)の読み値を用いたグレード分け(下表)を施工方法の目安としておすすめいたします。

グレード	表示値	従来の下地水分指標	施工方法目安
I	440未満	8%以下	一般工法
IIa	440以上 620未満	8~10%	耐湿工法推奨
IIb	620以上	10%以上	施工不可

表示値は静電容量に一次相関のある単位のない数値です。

下地:コンクリート・モルタル
セラフフレーリング材
水分計:HI-520-2 (選択) D MODE
設定条件:(厚さ)40mm(温度)AUTO



見本帳について

- 現品見本や見本帳写真と製品が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 掲載商品の価格及び仕様は、本見本帳発行時（2017年9月）のものです。経済の変動、品質の改善により、やむを得ず価格及び仕様を変更させていただく場合があります。
- ご注文の際は、販売店あるいは弊社にご確認いただきますようお願い申し上げます。
- 本見本帳に記載されている各種試験データは実測値であり、保証値ではありませんのでご了承ください。
- 海外生産品は、各商品の梱包ケースに原産国が表記しております。
- 表示価格は標準材料価格であり、消費税は含まれておりません。

見本帳の廃棄に関するお願い

不要となった見本帳につきましては、かかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託して頂きますようお願い申し上げます。



sangetsu www.sangetsu.co.jp

sangetsu design site

FLAGSHIP サンゲツ品川ショールーム

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4
品川グランデセントラルタワー 4F
TEL.0570-055-134 FAX.03-5463-6744

サンゲツ名古屋ショールーム

〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.0570-055-135 FAX.052-564-3229

サンゲツ大阪ショールーム

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKA 4F
TEL.0570-055-136 FAX.06-6347-9811

サンゲツ福岡ショールーム

〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.0570-055-137 FAX.092-441-9503



0570で始まる電話番号は、市内通話
料金にてご利用いただけます。

sangetsu design studio

サンゲツ仙台ショールーム

〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3922 FAX.022-253-6806

サンゲツ金沢ショールーム

〒920-8205 石川県金沢市大友2-101
TEL.076-238-1411 FAX.076-238-1412

サンゲツ岡山ショールーム

〒701-0301 岡山県都窪郡早島町矢尾836
TEL.086-292-5708 FAX.086-292-3322

サンゲツ広島ショールーム

〒730-0842 広島市中区舟入中町2-28
TEL.082-233-3815 FAX.082-233-3501

サンゲツ沖縄ショールーム

〒901-2225 沖縄県宜野湾市宇大尉名215
レキオススクエア宇地泊2F
TEL.098-890-3788 FAX.098-890-3789

北海道支社

〒003-0011 札幌市白石区中央一条2-1-37
TEL.011-832-3111 FAX.011-832-3333

東北支社

〒984-0031 仙台市若林区六丁目字南98-1
TEL.022-287-3765 FAX.022-287-2995

北関東支社

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町
4-262-16 マルキーヤ大宮ビル8F
TEL.048-601-5500 FAX.048-711-2681

東京支社

〒140-8611 東京都品川区東品川13-20-17
TEL.03-3474-1181 FAX.03-3450-5038

中部支社

〒451-8575 名古屋市西区幅下1-4-1
TEL.052-564-3111 FAX.052-564-3191

関西支社

〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島町111-4
TEL.06-6414-3311 FAX.06-6414-3312

中国四国支社

〒701-0301 岡山県都窪郡早島町矢尾836
TEL.086-292-3300 FAX.086-292-3322

九州支社

〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-11-11
TEL.092-441-5181 FAX.092-441-5191